

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立所沢中央高等学校	Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	「地域に根ざした学校」をキーワードに、学校評価懇話会などを通して生徒・保護者・地域の期待・ニーズをよく把握している。生徒の「能力、個性を最大限に伸ばす」ことを目指し、「学習、進路、生活、部活動、特別活動の指導」の充実に向けて学校全体でバランスよく取り組んでおり、生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものとなっている。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。生徒・学校関係者や教職員などの意見や要望、様々な資料を反映した、中期的な目標としてふさわしいものとなっている。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	生徒・保護者・教職員が参加する「校内懇話会」を11月に開催して学校の教育活動に関する意見や要望を集約し、その後の取組に生かすなど、重点目標の達成に向けて参画意識を高める工夫をしている。分掌・学年等で評価項目・方策についてよく議論し、相互に連携しながら丁寧に方策に取り組んでおり、組織体制が整備されている。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	週末課題を毎週末配付して提出状況を把握し、課題テストを実施するなど、重点目標達成に向けた具体的な方策が策定され、実施されている。評価指標がやや抽象的であるので、取組指標と成果指標、定性的指標と定量的指標をうまく組み合わせ、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、教職員一人一人の能力を生かして取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、学校の置かれた状況やビジョンに対して、教職員が高いレベルで共通理解を持って組織的に教育活動に取り組んでいる。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者評価を踏まえて分掌・学年等で達成状況や課題について検討し、職員会議で共有して次年度の取組につなげるよう組織的に取り組んでいる。各種アンケートの工夫を進め、学校間の学び合いを活用するなどして、組織的な授業改善などの取組の改善・更新のヒントを学校の外部からも広く取り入れ、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。
特記事項		